文献紹介

(藤木正也)

J. Optimization Theory and Applications **17**, 3/4, 1975

256 ブラウァー不動点発見のためのサンドウィッチ法
H. W. Kuhn & J. G. Mackinnon. 189-204.

257 パラメトリックLPにおける最大値の連続性
D. H. Martin. 205-210.

258 一般ラグランジュ関数・乗数法
H. Nakayama, Y. Sawaragi, 他, 211-227.

罰金関数法，双対定理，一般ラグランジュ関数，乗数法，非凸計画.

259 バナッハ空間における逆双対性
B. D. Craven. 229-238.

260 安定性，予測—修正と動的計画法
A. Lew. 239-250.

261 ワールド・ダイナミックス：汚染サブシステムの最適化研究
L. Mariani & B. Nicoletti. 251-271.

262 最適制御の存在について
M. Vidyasagar. 273-278.

263 バナッハ空間における制約つき最適問題
P. C. Das. 279-291.

264 ポントリヤーギンの最大原理のバナッハ空間への拡張
A. Seierstad. 293-335.

265 制約つき設計問題の最適化についての一注意
G. Stephanopoulos. 337-342.

266 凸集合上の線形計画法での双対ギャップについての注意へのコメント
E. J. Balder. 343-346. (鍋島一郎)

Archiv der Electrishen Übertrag **30**, 2, 1976
31, 1, 1977

267 先着順と逆順の中間特性を与えるサービス規律
F. Schreiber. 497-501.

先着順用待ち装置 Q_1(有限)と逆順用待ち装置 Q_2(無限). Q_1 全塞り時は Q_2 に入り，Q_1 へ移動. $M/M/1$. 待ち時間・系内時間の分布，平均，分散.

268 小局交換機における自局内接続呼と他局接続呼の呼損率
Z. Markov. 11-14.

加入者数有限，1段接続完全群通話路網. 出方路1

IEEE Trans. on Communications **COM-25**, 1, 1977

269 計算機間通信の解析のための待ち行列モデル
H. Kobayashi & A. G. Konheim. 2-29.

展望論文. $M/M/$・形待ち行列，待ち行列網とその最近の傾向，離散形待ち行列とその応用（バッファ容量の解析，多重化方法の解析）などについて解説している. 150余の引用文献あり.

270 大規模網の網形態の最適化
R. R. Boorstyn & H. Frank. 29-47.

地域的に端末を集めて接続するローカル網と，それらの間の通信接続を行なうハイレベル網の2階層からなる大規模網に対し，網形態の最適化の問題と解法についてまとめた.

271 分散形計算機網の網形態設計について
M. Gerla & L. Kleinrock. 48-60.

272 網設計：アクセス機能の位置ぎめ問題に対する一アルゴリズム
P. V. McGregor & D. Shen. 61-73.

資源を共用するユーザーを集線装置で集めて複数個の資源へ接続するネットワークの設計について，ユーザー集合の重心を用いる発見的手法を提案した.

273 遅延時間最小ルーティングアルゴリズム
R. G. Gallager. 73-85.

各局で隣接局からの情報により遅延時間が最小になるようにルーティングテーブルを計算するループフリーのアルゴリズムについて述べる.

274 データ通信網における適応式ルーティングの最適制御と予測理論によるモデル化と解析
A. Segall. 85-95.

275 衛星が使用チャネルを指定する衛星パケット交換方式におけるバッファ所要量，遅延時間の解析
S. F. W. Ng & J. W. Mark. 128-135.

276 固定長パケットを運ぶ多重無線チャネルの遅延時間分布の近似解析と時分割多重方式との比較
M. J. Ferguson. 136-139.

277 衛星を介した計算機網間通信における集線装置(一種の網間接続装置)のバッファ容量の解析
B. Gavish & A. G. Konheim. 140-147.

278 アロハシステムの設計と分析に対する近似方法
H. Kobayashi, Y. Onozato & D. Huyhn. 148-157.

純アロハ，スロットアロハシステム(パケット無線網)について，分散近似によりスループット，平均遅延時間を解析している. 分析例多い.

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会. 無断複写・複製・転載を禁ず.

279　陸上回線と衛星回線を併用するパケット交換網の最適設計：ルーティングと回線容量の割付け
D. Huynh, H. Kobayashi, 他. 158-169.

衛星回線で衝突した時には陸上回線を使用する新しい方式について，最適設計を行なっている．

（橋田　温・川島幸之助）

INFOR **14**, 3, 1976

280　ネットワークの容量拡張問題
L. O. Wilson & A. J. Kalotay. 193-211.

各点の需要ののびが時間に比例する時，常に需要を満たすように供給設備をふやす費用最小設備問題を解析的にあつかう．ただし各点へは定まった2点から供給可能．

281　離散事象シミュレーションの計算時間と精度
T. A. Rourke & S. R. Clark. 212-226.

282　*SUE*/11　オペレーティングシステム
I. E. Greenblatt & R. C. Holt. 227-232.

283　ゲーム理論における最適方策と投資計画への応用
G. Pederzoli. 233-240.

284　間接的列挙法による(0, 1)分数計画問題の解法について
D. Granot & F. Granot. 241-249.

285　費用の不確定さと危険回避を考慮した最適設計法
K. V. Bury. 250-258.

工業製品設計において，費用がかたよりをもつ確率分布(ガンマ分布)にしたがうときの経済性を目的関数として定式化する．これは正規分布の場合の拡張になる．

286　パートシミュレーションにおける分散縮小の比較
R. Loulou & T. Beale. 259-269.

問題を複雑さにより3つ取り上げ，手法も3種用意し，その組合せによる計算処理時間を比較する．

287　トロント大学の教育用データベース管理システム
F. H. Lochovsky & D. C. Tsichritzis. 270-278.　（高橋　誠・坂内広蔵・茂原一洋）

Opsearch **13**, 2, 1976

288　異なったサービス率をもつサーバーが順番にサービスする待ち行列
R. B. Cooper. 69-78.

289　販売力の最適スケジュール
J. Elzinga & R. R. Bemuganti. 79-92.

290　一般化ネットワークと一般化輸送問題の同等性
F. Glover, D. Klingman, 他. 93-100.

291　マルコフ的環境における確率過程のエルゴード性
K. Balagopal. 101-108.

292　視察をもつ静的在庫モデル
R. M. Panda & S. P. Mukherjee. 109-114.

293　フローショップ問題における大域的下限
S. P. Bansal. 115-118.　（大野勝久）

J. Optimization Theory and Applications **18**, 1, 1976

294　多目的意思決定における支配構造の一般化と非支配解
K. Bergstresser, A. Charnes, P. L. Yu 3-13.

より多くの意思決定問題に応用できるように，目的空間の点における支配構造を，Yu による凸錐から凸集合に一般化し，その場合の非支配解の性質を与え，局所的非支配解が全域的となるための条件を求めている．

295　追求者2名と逃避者1名をもつある微分ゲーム
P. Hagedorn & J. V. Breakmell. 15-29.

296　交渉解を有する非零和微分ゲームについての覚書
A. Haurie. 31-39.

297　最大ベクトルと多目的最適化
J. G. Lin. 41-64.

298　確率的微分ゲームのある問題
P. T. Lin. 65-71.

299　微分ゲームと最適制御との同値例
E. E. M. Rechtschaffen. 73-79.

300　純粋戦略の鞍点解をもたない微分ゲーム
W. E. Schmitendorf. 81-92.

標題の2人零和微分ゲームに対し，ミニ・マックス戦略を吟味する．

301　提携的パレート最適解に対する1つの十分条件
W. E. Schmitendorf & Moriarty. 93-102.

2～($k-1$)人の提携のあるk人・非零和微分ゲームを考察．

302　不完全定義の支払いをもつ零和ゲーム
A. Sprzeuzkouski. 103-118.

303　多目的問題における選好最適性に対する十分条件
W. Stadler. 119-140.

304　2人零和微分ゲームにおける鞍点最適性について
H. L. Stalford & G. Leitmann. 141-151.

305　確率的零和微分ゲームにおける情報の役割
F. K. Sun & Y. C. Ho. 153-163.

306　零和微分ゲームでの鞍点条件と情報構造に関する若干の考案
T. Basar. 165-170.

307　*N*人，非零和，線形微分ゲームへの新接近
M. Vidyasagar. 171-175.

各プレイヤーへの費用が凸であるとき，現ゲームに均衡戦略の存在を示す．　（鍋島一郎）

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．